

公益社団法人新潟県介護福祉士会

令和２年度 事業計画

(令和２年４月１日 ～ 令和３年３月３１日まで)

事業方針

超高齢社会を迎える日本にとっては、介護の中核を担う介護福祉士の養成と確保は国民的課題である。この課題を解決していくためには、介護福祉士を魅力ある職業として確立することが必要である。私たち介護福祉士が、生涯にわたって意欲と責任を持って行動できる環境を目指し、以下の取り組みを事業方針として諸事業を展開していく。

1. 本会は、介護福祉ニーズを有する人々が、住み慣れた地域において、安心して暮らし続けていくことに応える活動を、日本介護福祉士会倫理綱領及び倫理基準に則して実施する。
2. 公益社団法人の理念に基づき、県民の福祉の向上に寄与するため、より公益性の高い法人組織を構築し、組織運営の「見える化」を推進する。
3. 各ブロックが新規会員入会目標数を掲げ、会員拡大及び世代別に組織強化を図る。組織委員会の内部に青年部を位置付けるなど、世代別の活動の取り組みを推進する。また、会員の自主活動を支援し会員活動の活性化を図る。
4. 介護・福祉の就労を支援するための研修の開催及び介護職員実務者研修、介護に関する入門的研修事業を開催し福祉従事者の確保を図る。
5. 生涯研修制度に基づいた研修を実施し、参加を促進する。研修会を通じて介護福祉士の質の向上を図り、福祉・介護サービスに関わる諸問題について理解を深める。また、認定介護福祉士養成研修の開催に向けての検討を進める。
6. 地域における住民相互の支え合い助け合いの重要性と、県民への幅広い「介護」の普及啓発の場として「介護の日 県民のつどい」を開催する。介護の魅力イメージアップ戦略として、「介護技術コンテスト」や小学校、中学校、高等学校に介護の魅力を伝える「出前講座」を開催する。

事業内容

ア 介護福祉の向上のための調査研究事業

介護福祉の専門職としての資質向上及び福祉サービスの質の向上を目指した調査研究、事例発表や実践報告を行い専門性の向上を高める。調査研究・事例発表・報告されたものはホームページ・広報誌等で案内し、日本介護学会、日本介護福祉士会全国大会、関東・甲信越ブロック研修会などへの発表を目指す。

1 介護福祉に関する調査・実践研究報告

- 1 時 期 令和3年3月6日（予定）
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ
- 3 内 容 県内の介護事業所において、事例テーマを基に研究事例を公開発表する。
- 4 対 象 介護福祉士及び一般介護職員

イ 介護福祉に関する情報を県民に提供する為の事業

新潟県よりの委託事業である介護技術コンテストを本年も開催する予定である。4年連続開催し大変好評を得ている。参加事業所数は10事業所であったが、参加者、見る者の両方から介護技術の素晴らしさを伝えることができた。

新潟県・新潟県社会福祉協議会と共催で「介護の日 県民のつどい」も開催する。「介護の日」の普及啓発を目的とし、他団体との共催での企画・主催・運営によるネットワーク体制の構築を目指したい。

広報誌「かけはし」の内容等を各委員会中心で検討し、より多様な情報提供と興味・関心の持てる内容へと工夫を取り入れ、年2回発行を予定している。ホームページも定期及び随時更新し、当会の事業活動の案内を発信することにする。また、介護福祉啓発のための公開講演会等も実施する。

ついで、介護に関する情報、知識、技術等を県民に提供し、啓発することを目的に以下の事業を行う。

1 「新潟県介護技術コンテスト」

- 1 時 期 令和2年11月15日（日）
- 2 場 所 新潟市 朱鷺メッセウェブマーケット
- 3 内 容 新潟県介護技術コンテストと銘打ち、県内より参加チームを募り、審査基準を設けての介護技術を競うものである。介護職員が日頃の業務で身につけた介護技術を発表し、その技術の高さや専門性を競

うことにより、介護技術の向上を図るとともに、県民の介護への理解を深めることを目的として介護福祉の啓発に努める。

- 4 講 師 会員講師
- 5 対 象 一般県民及び介護福祉士、介護従事者等

2 学校訪問等による出前講座授業による介護福祉啓発

- 1 時 期 5月から翌年2月
- 2 場 所 希望される県内小・中・高等学校等
- 3 内 容 子どもたちに介護への理解を深めることを目的として、県内各地の学校に出前講座という形で赴き、「介護の仕事の楽しさ、深さ、広さ」を啓発授業のスタイルで講義演習を行うことで介護福祉の普及啓発に努める。
- 4 講 師 会員講師
- 5 対 象 一般県民及び小・中・高校生

3 「介護の日 県民のつどい」

- 1 時 期 令和2年11月15日（日）
- 2 場 所 新潟市 朱鷺メッセウェブマーケット
- 3 内 容 11月11日は「介護の日」であるため、制定日を記念として、公開講演会、認知症サポーター養成講座、介護知識講習等関連したイベントを開催し、県民に幅広く啓発活動を展開する。
- 4 対 象 一般県民及び介護福祉士、介護従事者等

4 高齢者疑似体験インストラクター派遣

- 1 時 期 通年
- 2 内 容 高齢者疑似体験インストラクターを派遣し、介護福祉士会が保有する高齢者疑似体験用装具を、地域の福祉祭りや防災対策事業、学校事業等に活用する。
- 3 派遣場所 県内各地
- 4 対 象 介護に関心のある人々

5 広報誌「かけはし」の作成発行

- 1 発行時期 年2回を予定（8月・2月）
- 2 内 容 当会事業活動をテーマにした情報提供や会員相互の交流、研修の案内に関すること。

3 対 象 会員及び介護職員

6 ホームページによる広報活動

- 1 公開期間 24時間対応
- 2 内 容 通年公開し、今後も多様な事業案内や報告、会員相互の交流の場としての情報発信源となることを目指す。また、各種新規情報の掲載における更新作業は広報担当者と随時協議・連絡し実施していく。SNSを活用した広報活動についても継続実施する。

7 介護実践報告会による介護福祉啓発

- 1 時 期 令和3年3月6日（予定）
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ5階 中研修室
- 3 内 容 介護福祉の専門職としての資質向上及び福祉サービスの質の向上を目指した研究及び実践事例報告を発表し介護福祉の啓発に努める。
- 4 講評 者 未定
- 5 対 象 一般県民及び介護福祉士、介護従事者等

8 公開講演会による介護福祉啓発

- 1 時 期 令和2年6月13日（土）
- 2 場 所 長岡市 長岡市立劇場 大会議室
- 3 内 容 定時総会開催において、「介護」をテーマに公開講演会を実施し介護福祉の啓発に努める。
- 4 講 師 長岡崇徳大学学長 全日本認知症学会理事長 森 啓 氏
講演テーマ 「認知症の医療と介護」（仮題）
- 5 対 象 一般県民及び介護福祉士、介護従事者等

ウ 介護従事者等のための相談及び研修事業

介護福祉士や介護職員を目指す後継者の育成及び県民への幅広い啓発活動を目的として、国家試験対策用の実務者研修や筆記模擬試験等、関連した事業を実施する。各種関係機関が主催する初任者研修等の研修会・講習会等に対する講師派遣、また、本年もキャリア形成訪問支援事業も継続して実施する。また、昨年実施した事業である「介護に関する入門的研修」事業も実施する。

1 介護福祉士国家試験対策 筆記模擬試験（日本介護福祉士会主催）

- 1 時 期 令和2年12月5日（土）
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ 大会議室
- 3 内 容 介護福祉士国家試験対策筆記模擬試験
- 4 対 象 令和2年度介護福祉士国家試験受験予定者
- 5 定 員 100名程度（会場受験・自宅受験可）

2 介護福祉士実務者研修（通信課程）

- 1 時 期 令和2年5月16日から11月28日
- 2 場 所 特別養護老人ホームこうめの里
- 3 内 容 介護福祉士受験資格取得に必須である実務研修であり、基本的な介護提供能力の習得を目指すものである。スクーリング日8日間
- 4 対 象 介護福祉士国家試験受験予定者
- 5 定 員 1コース 16名

3 福祉用具専門相談員指定講習会

- 1 時 期 令和2年5月、令和3年2月の2コース実施予定
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ
- 3 内 容 法律において定められた科目及び福祉用具サービス計画の専門的知識を身につけ、的確なアドバイスができる福祉用具専門相談員の養成を目指す。
- 4 対 象 福祉用具に関心ある一般の人々
- 5 定 員 1コース 定員36名

4 他団体及び学校事業における介護職員初任者研修、介護補助員養成研修事業等への講師派遣

- 1 時 期 通年
- 2 協力機関 新潟県シルバー人材連合会、新潟県社会福祉協議会、各種学校及び大学等
- 3 場 所 県内講習会実施会場
- 4 内 容 関係機関が主催する介護職員初任者研修事業等に対し講師派遣を行い、後継者育成、介護福祉の啓発に努める。

5 キャリア形成訪問支援事業

- 1 時 期 令和2年6月から令和3年2月（予定）
- 2 場 所 県内各地（派遣要請事業所にて実施）

- 3 内 容 介護技術等における各種講師派遣
介護職員の資質向上に向けた研修カリキュラムの実施
- 4 対 象 講師派遣を希望する県内各地の介護保険サービス事業所

6 介護に関する入門的研修事業

- 1 時 期 令和2年9月～10月（調整中）
- 2 場 所 上越・中越・下越・佐渡 県内4会場で各1回開催を予定
- 3 講 師 新潟県介護福祉士会指定講師
- 4 定 員 新潟会場100名、他各会場50名
- 5 内 容 県内の4会場で、1コース21時間を4日間で開講実施する。
介護との関わりがなかった方や介護未経験者の方に介護に関する基本的な知識を身に付けてもらうとともに、介護の業務に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学んでもらう。研修修了後の介護分野への参入のきっかけを作るとともに、介護の業務に携わる上での不安を払拭することにより、多様な人材の参入を促進するために行う。

エ 介護保険制度等をより充実させるための事業

県内の介護サービス事業所の質の向上を図ることを目的に、高齢者施設・障がい者施設、地域密着型サービス事業所の依頼により、福祉サービス第三者評価及び地域密着サービス外部評価の評価調査を実施する。評価結果は新潟県等により、情報提供（公表）が行われ、これにより県民の福祉の向上並びに介護保険制度の充実に寄与するものである。

1 「福祉サービス第三者評価」指定評価機関事業

- 1 時 期 通年
- 2 内 容 福祉サービス事業所（高齢施設、障害施設）への評価及び所属する評価調査者の資質向上に向けた研修会の実施
- 3 対 象 県内福祉サービス事業所
所属する調査者研修は新潟県介護福祉士会会員及び事務局職員
- 4 評価者数 41名

2 「地域密着型サービス外部評価」指定評価機関事業

- 1 時 期 通年
- 2 内 容 グループホーム事業所への評価の実施及び所属する評価調査者

の資質向上に向けた研修会の実施

3 対 象 県内のグループホーム事業所

所属する調査者研修は新潟県介護福祉士会会員及び事務局職員

4 評価者数 48名

オ 介護福祉の援助を必要とする県民の生活と権利擁護に関する制度を充実させるための事業

県民の権利擁護に関する制度を充実させることを目的に、新潟県、新潟市、新潟県社会福祉協議会、新潟市社会福祉協議会等の行政機関・福祉団体が開催する協議会、委員会等へ委員を派遣する。新潟県内の介護福祉の向上を目指すものである。

1 時 期 通年

2 内 容 各協議会、委員会等への委員派遣

カ 介護福祉士等の専門性を確立させるための事業

介護職員等の専門性の向上、後継者の育成、介護福祉人材のスキルアップを目的に、介護福祉士生涯学習制度の研修実施、その他、スキルアップのための多様の研修を実施する。会員・非会員のニーズ及び時宜に叶った多様な研修を計画実施し、より効果的で実践可能な内容に焦点を充て実施する。

介護福祉士養成施設実習指導者の養成研修を継続実施し、後継者育成における指導者の資質向上に努め、福祉人材全体のレベルアップに向けて取り組む。また、地域包括ケアシステムが推進されるなか、介護職員が在宅サービス利用者に適切な医療的ケアが提供されるよう喀痰吸引等研修（第3号研修）も引続き実施する。

1 介護福祉士基本研修

日本介護福祉士会規定に基づき、新人介護福祉士に対して、定められたカリキュラムでの研修を実施する。

1 時 期 令和2年4月27日・28日、5月11日・12日（4日間）

2 場 所 新潟ユニゾンプラザ小研修室3

3 講 師 新潟県介護福祉士会 基本研修指定講師

4 内 容 規定カリキュラムに沿って実施

5 対 象 国家資格取得後、3年程度までの新任介護福祉士

6 定 員 30名

2 介護福祉士現任研修

（1）介護職が働きがいをもてる働き方改革

- 1 時 期 令和2年5月30日（土）
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ 中研修室
- 3 講 師 社会福祉法人桜井の里福祉会
専務理事・総合施設長 佐々木 勝則 氏
- 4 内 容 介護業界における改革の実態について事例から課題と対策を考える。
- 5 対 象 介護福祉士及び介護従事者
- 6 定 員 50名

（2）認知症の正しい理解 虐待防止について

- 1 時 期 令和2年6月20日（土）
- 2 場 所 長岡市長岡介護福祉専門学校あゆみ4F 第1会議室
- 3 講 師 NPO法人ミニケアホームきみさんち
理事長 林田 俊弘 氏
- 4 内 容 どうすれば認知症の人への虐待を止められるのか。介護現場の実態と今後の解決策について
- 5 対 象 介護福祉士及び介護従事者
- 6 定 員 50名

（3）介護施設における生活支援のあり方

- 1 時 期 令和2年7月4日（土）
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ 中研修室
- 3 講 師 宅老所いしいさん家 代表 石井 英寿 氏
- 4 内 容 最後まで人間らしく、生きる意欲を引き出す生活支援について考えます
- 5 対 象 介護福祉士及び介護従事者
- 6 定 員 50名

（4）認知症との共生ケア

- 1 時 期 令和2年8月28日（金）
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ 大会議室
- 3 講 師 生活とリハビリ研究所 代表 三好 春樹 氏
- 4 内 容 認知症の方は根本的な治療法がないことが現状であり「治らないこと」を前提に、認知症を受容し、「認知症と共生」するための社会についての理解を深める

- 5 対 象 介護福祉士及び介護従事者
- 6 定 員 100名

(5) 介護施設における災害対策について（仮題）

- 1 時 期 令和2年9月予定
- 2 場 所 調整中
- 3 講 師 新潟県介護福祉士会 顧問
一社 新潟地域福祉協会 理事長 岡田 史 氏
- 4 内 容 利用者の安全・安心を確保するためには福祉サービス上のリスクや感染症対策のみならず、災害時における安全確保のための対策を講じる必要があります。多くの災害現場への活動経験から、その対策について
- 5 対 象 介護福祉士及び介護従事者
- 6 定 員 50名

(6) 正しい日本語の伝え方について（仮題）

- 1 時 期 令和2年10月24日（土）
- 2 場 所 長岡市 長岡介護専門学校あゆみ第1会議室
- 3 講 師 国立三重大学教育学部 特任講師 神山 英子 先生
- 4 内 容 ・外国の方に理解しやすい日本語の伝え方とは
・私たちが理解すべき言葉のコミュニケーションの工夫及び配慮すべきポイントについて
- 5 対 象 介護福祉士及び介護従事者
- 6 定 員 50名

(7) 現任研修その他3件を調整中

3 介護福祉士ファーストステップ研修

- 1 時 期
→（第1領域 計6日間）
6月6日・26日、7月18日、8月8日・29日、9月19日
→（第2領域 計3日間）
10月10日・11月1日、11月20日
→（第3領域 計6日間）
12月12日、1月11日・1月30日、2月20日、3月13日・27日

- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ
- 3 講 師 新潟県介護福祉士会ファーストステップ研修指定講師
- 4 内 容 日本介護福祉士会生涯学習制度におけるファーストステップの
カリキュラムに沿って実施する。
- 5 対 象 介護福祉士及び介護従事者
- 6 定 員 30名

4 介護福祉士 講師養成研修

介護ニーズが増大・多様化するなか、介護福祉士には「質の向上」及び「より専門的な対応」が求められており、現在講師をしている方・これから講師を目指したい方を対象として、一定水準の質（レベル）を養成することを目的として実施する。

- 1 時 期 令和2年5月31日
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ2階 女性財団交流室2
- 3 講 師 新潟県介護福祉士会 顧問
新潟地域福祉協会 理事長 岡田 史 氏
- 4 内 容 講師としての心構え、研修カリキュラムの組み立て方、シラバス等の
作成方法について、模擬授業の実施と評価について
- 5 対 象 介護福祉士及び介護従事者
- 6 定 員 30名

5 介護福祉士養成施設 実習指導者研修会

- 1 時 期 年間2回実施予定
第1回 6月23日・24日、7月7日・8日
第2回 9月23日・24日、10月7日・8日
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ 中研修室
- 3 講 師 新潟県介護福祉士会実習指導者研修会指定講師
- 3 内 容 制度改正に向けた福祉施設における介護福祉士実習指導者養成
及び指導、受け入れ体制の強化を目指した必要な知識の習得
- 4 対 象 介護福祉士国家資格取得後3年以上の実務経験を有する者
- 5 定 員 50名（各コース）

6 各ブロック研修事業（4ブロック）

- 1 時 期 通年
- 2 場 所 県内各地の研修会場

- 3 内 容 県内4つのブロックにおいて、一般県民、介護従事者を対象に介護福祉について、多様な実技研修、研修、講演会を不定期に開催する。少人数での開催を主としており、介護福祉に関する普及啓発を目的としている。また、同時に講師等を実践することで、介護の専門職としての質の向上を目指す。
- 4 対 象 一般県民、介護従事者

7 喀痰吸引等研修（第3号）について

- 1 時 期 令和2年は年間3回を開催予定
第1回 6月27日・6月28日
第2回 9月12日・9月13日
第3回 10月3日・10月4日
- 2 場 所 新潟市で第1回・第3回を、第2回を上越市で実施
- 3 講 師 喀痰吸引等研修担当講師（介護福祉士・社会福祉士・看護師）
- 4 内 容 喀痰吸引等研修（第3号）の制度理解と看護師から実践指導
- 5 対 象 介護福祉士及び介護従事者

8 介護職種の技能実習指導員講習会について

- 1 時 期 令和2年9月予定（現在調整中）
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ
- 3 講 師 新潟県介護福祉士会 技能実習指導員指定講師
- 4 内 容 介護職種の技能実習生の技能の習得が円滑に図られるよう、適切な実習体制を確保することを目的とした技能実習生受入れのための対応講義演習等
- 5 対 象 介護福祉士、介護従事者、管理団体職員等

キ 介護福祉活動を通して社会に貢献するための事業

県民からの介護に関する悩みや相談に応じ、介護従事の負担軽減を図ることを目的とし、介護に関する電話相談や関連機関への講師派遣の実施、新潟市浴場組合からの依頼による入浴ボランティア講師派遣を行い、入浴介助・助言相談等を実施する。

1 介護相談事業

- 1 時 期 通年
- 2 場 所 新潟ユニゾンプラザ（事務局内）
- 3 内 容 介護・福祉・介護保険等に関する相談

4 対 象 一般県民

2 新潟市浴場組合福祉入浴へのボランティア派遣事業

- 1 時 期 令和2年 9月～11月にかけて
- 2 場 所 新潟市浴場組合において指定された新潟市内公衆浴場
- 3 内 容 障がい者及び虚弱高齢者の入浴介助及び介護に関する相談助言
- 4 対 象 介助や見守りが必要な障がい者及び虚弱高齢者

日本介護福祉士会と連動した組織拡大や体制強化に向けた事業

○会員組織拡大に向けた事業

組織拡大に向けた普及啓発事業（新規会員数増大に向けて）

- 1 実施時期 通年（毎月会員推移を集計し、運営委員会にて分析を行う）
- 2 内 容 介護福祉士養成施設卒業者へ向けた入会説明会の開催
福祉事業所に従事する介護福祉士への普及活動
ホームページや各種広報活動による普及活動
その他、新規会員拡大へ向けた課題分析

○公益社団法人新潟県介護福祉士会会議

- | | | |
|-----------|-------------------|---------------|
| 1 総会 | 定時総会 | 令和2年 6月13日（土） |
| 2 理事会 | 第1回理事会 | 令和2年 5月16日（土） |
| | 第2回理事会 | 未定 |
| | 第3回理事会 | 未定 |
| | 第4回理事会 | 令和3年 3月13日（土） |
| 3 運営委員会 | 第1回運営委員会 | 令和2年 5月 9日（土） |
| | 第2回運営委員会 | 令和2年 7月11日（土） |
| | 第3回運営委員会 | 令和2年 9月12日（土） |
| | 第4回運営委員会 | 令和2年11月 7日（土） |
| | 第5回運営委員会 | 令和3年 1月 9日（土） |
| | 第6回運営委員会 | 令和3年 3月 6日（土） |
| 4 各専門委員会 | 運営委員会の開催と併せて開催する。 | |
| 5 正副会長会議 | 必要に応じて会長が招集し開催する。 | |
| 6 ブロック長会議 | 必要に応じて会長が招集し開催する。 | |

○公益社団法人日本介護福祉士会会議及び事業

1 総会 令和2年5月30日(土) 東京都 会場調整中 (代議員出席)

2 第27回全国大会及び第18回日本介護学会

令和2年10月9日(金)・10日(土)

会場 福島県郡山市 けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)

3 その他日本介護福祉士会主催各種研修会 会場調整中